

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会

2024 年度 実行計画(案)

基本方針	
ALL 茨城連絡委員会 委員長 山縣 広希	
委員会の 目指す未来	茨城ブロック協議会と各 LOM がお互いに信頼を置ける関係となり、情報をあますことなく共有し、地域の課題に寄り添った最善の方法で解決できている状態。
委員会 設置背景	毎年会員数が減少しており、2023 年の時点で茨城ブロック内全会員の 65%が 5 年以内に卒業してしまい、現状のままだと活動が困難な LOM が増加する恐れがあり、各 LOM 抱えている課題に茨城ブロック協議会が調整機関として連携をはかることで、各 LOM が飛躍できるサポートを構築する必要があります。
委員会 設置目的	茨城ブロック協議会がこれまで行ってきた支援をより幅広く行うことで、事業構築や発展と成長の機会を提供することができる LOM をサポートするためのプラットフォームとしての役割を担うことを目的とします。

① 事業構築のための情報提供及び協力

背景	茨城ブロック協議会に所属する各 LOM が事業を行う際に、専属の相談窓口がない現状があります。そこで、よりよい事業を確立するための背景、目的、事業内容に至るまでのサポートをする必要があります。
目的	茨城ブロック協議会としてのスケールメリットを最大限に生かし、事業構築の際に、今までにない視点や、日本各地で行った過去の事業の事例を共有することにより、よりよい事業が行えるサポートをすることを目的とします。
推進体制	連携パートナー：各 LOM 参加対象者：各 LOM メンバー
実施日	通年
施策の詳細	ヒアリングを通して調査をし、各 LOM の必要に応じて多種多様な相談窓口としてのサポートをして参ります。 JC プログラムなどの推進をし、より JC についての理解を深めていただくためのサポートの実施。

② エリア会議、エリア内事業への積極的参加及び協力

背景	LOM にとって最も頼りになる近隣 LOM との連携を図ることにより、LOM の抱える問題点をお互いに認識し合うことで、互いの成長を促すことのできる運動の最大化を使命とする茨城ブロック協議会が積極的に寄り添う必要があります。
目的	近隣 LOM との的確な支援を推進することで、各 LOM の運動を最大限に発揮できる環境を創出することを目的とします。

推進体制	連携パートナー：各エリア担当副会長 参加対象者：各 LOM メンバー
実施日	通年
施策の詳細	必要に応じて、各エリア会議、エリア事業へ委員会が参加し茨城ブロック協議会の運動の発信に努めます。 各エリア内の LOM の課題を共有し、解決に向けて共に取り組んで参ります。 近隣 LOM や親子 LOM などの2LOM 間以上での事業共催の推進を行います。

③ 各 LOM へのヒアリングと課題の抽出

背景	各 LOM がそれぞれの立場で、各々が悩んでいる問題に真摯に向き合い、茨城ブロック協議会としての中立的な立場から、よりよい組織となるための課題を抽出し、共に取り組む必要があります。
目的	各 LOM が抱える課題を抽出し、共に問題点を解決するための提案やサポートを行い、LOM の組織力の向上につながることを目的とします。
推進体制	連携パートナー：各 LOM 参加対象者：各 LOM 理事長及び専務
実施日	通年
施策の詳細	過去 2 年間行ってきた支援の検証を行い、今後の成長の糧となるサポートをさせていただきます。 各 LOM へヒアリングの実施を行い、共有できる部分に関しては、茨城ブロック協議会内の諸会議、会員会議所会議にて報告させていただき、皆様と共に LOM を考える場の創出をいたします。 各 LOM の状況を、茨城ブロック協議会内にて共有し、LOM が望む支援を茨城ブロック協議会内の各委員会に共有した上で、茨城ブロック協議会として最速にて最適な支援を行えるサポートを確立致します。

④ 全 LOM 一斉事業の推進の実施

背景	日本青年会議所本会より、全国一斉に事業を推進することで、ブロック協議会・LOM との連携を地域に住み暮らす人々へ演出する必要があります。
目的	日本青年会議所本会を中心として、全国一斉事業を行うことにより、日本全国に青年会議所の存在意義を示すことを目的とします。
推進体制	連携パートナー：日本青年会議所 組織グループ 参加対象者：各 LOM
実施日	通年（日本青年会議所が指定した日程）
施策の詳細	各 LOM との事業実施に向けての調整。

⑤ 茨城ブロック協議会の在り方を考える会議の運営の実施

背景	JCI 日本に対する LOM の意見を吸い出した地区協議会・ブロック協議会モデル 答申書が打ち出され、茨城ブロック協議会も時代に合わせたアップデートをする 必要があります。
目的	定期的に茨城ブロックについて会議を実施することによって、LOM に必要とさ れるブロック協議会へとアップデートさせることを目的とします。
推進体制	連携パートナー：日本青年会議所 組織グループ 参加対象者：茨城ブロック役員 他（理事長経験者など）
実施日	通年
施策の詳細	定期的な会議の実施。 必要に応じて、参加対象者が設定したテーマに沿って議論を行い、委員会がと りまとめを行い日本青年会議所本会に提言する。